



創立 40 周年記念 チャーターメンバー卓話講演



中島ロータリークラブ
チャーターメンバー

辻 口 昇

中島クラブ唯一人になってしまいましたチャーターメンバーの辻口です。入会は昭和 47 年 6 月です。顧みますと 40 年前に新築間もない国民宿舎小牧台にて、中島ロータリークラブの認証伝達式が当時中島町町長であった故端作工門氏を初代会長として、盛大に行われました。この時は、豪華客船をチャーターし船上パーティーを催し、宣伝のためアドバルーンを上げたりと来町されたロータリアンをお迎えしました。また、本日も催されていますが呈茶席は昔から当クラブの定番行事であり節目宴会には必ず宗和流の方々のご協力を得てもてなしをしております。これが文化の香り高い中島ならではのおもてなしですね。

あれから 40 年、ロータリーは人間銀行と言われておりますが四つのテストに照らして言行に誤りなきを期し、常に相手の身になって考え、職業奉仕を始め数々の活動に励んでいる多くのロータリアンの存在は誠に頼もしく 40 年間変わっていないと思います。ロータリーには 4 つのテストがあるのは誰しも御存じですが由来となるとあまり知られていないと思います。それは、このテストは、自らの動機と目標を思慮深く検討するよう求めるものなのです。真実、公平さ、思いやりに対する強調は、道徳的要素を多く含有しているため、“倫理的消化不良”を起こしてしまう人たちも確かにいます。四つのテストは、人生のあらゆる面における指針となるでしょう。私も実践しております。話は変わって中島クラブをたとえばどうなるでしょうか？私が思うに「山椒はピリリと小粒でからい」でしょうか。皆がそれぞれの立場で世界を考え理解し共有しているクラブと言えます。また、全員が米山功労者でかつ P.H.F. というクラブは全国的にも珍しいことです。

親クラブの御七尾クラブを始め、友好クラブ、交流クラブの先輩、同輩、後輩ロータリアンには本日、お忙しいところ貴重な時間を割いて中島クラブのためにお越し下さいまして有難うございました。今後さらに地域に根差したロータリー活動をしていく所存です。